

# Minami Kyushu University Junior college Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	国際教養学科				
科目名称	英語学入門				授業形態	演習			
科目コード	590100	単位数	1単位	配当学年	2	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	水島 孝司							ICT活 用	
授業概要	<p>本授業の主たる目的は、受講生が言語の普遍性と多様性に気づき、自らのことばの見方・考え方を広げるのを支援することである。授業では、英語が属する語族、英語の歴史、および形態論を取り上げる。小テストは学期中に3回行うが、プリントに掲げる毎授業の「到達目標」から出題する。学期末には、本授業で学んだことのうち最も興味を持った内容を深め、A4判2枚程度(本文1500文字以上、1800文字以内。これとは別に参考文献を載せる)のレポートを書いてもらう。</p>								
関連する科目	英語学習法、World Languages								
授業の進め方 と方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講生の理解度を確認しながら、講義形式で授業を進める。</li> <li>・毎回配布するプリントとパワーポイントを用いた説明を行う。</li> <li>・「形態論」を取り上げる授業では、英単語を科学的に分析した結果をグループで話し合い、その内容を板書して発表してもらう。</li> <li>・前時に配布されたプリントを持参すること。</li> </ul>								
授業計画 【第1回】	オリエンテーション 授業の概要、評価方法などについて説明する。英語学とはどのような学問か、英語が属する語族について学ぶ。								
授業計画 【第2回】	英語史(古期英語) 古期英語の特徴を主に語彙・文法の観点から学ぶ。現代ドイツ語と古期英語を比較し、類似点と相違点を確認する。								
授業計画 【第3回】	英語史(中期英語) 中期英語の特徴を主に語彙・文法の観点から学ぶ。ノルマン人の制服、フランス語が英語に与えた影響などについて解説する。								
授業計画 【第4回】	英語史(中期英語～近代英語) 近代英語の特徴を主に語彙・発音の観点から学ぶ。英語語彙の3層構造(本来語、フランス語、ラテン語)、大母音推移などについて解説する。								
授業計画 【第5回】	英語史(近代英語) 近代英語期に生まれた「ジョンソンの英語辞典」の特徴について学ぶ。また、Oxford English Dictionaryで語形と意味の変遷を概観する。								
授業計画 【第6回】	形態論-1 「形態論」の基礎知識 「形態論」と「形態素」の定義、および形態素の種類(自由形態素と拘束形態素)について学ぶ。								
授業計画 【第7回】	形態論-2 屈折形態素と派生形態素 拘束形態素の下位グループである「屈折形態素」と「派生形態素」について学び、その知識を生かして英単語を科学的に分析する練習をする。								
授業計画 【第8回】	形態論-3 接頭辞、接尾辞 接頭辞、接尾辞の知識を増やししながら、英単語を科学的に分析する練習をする。								
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語史に関する基礎知識を身につけ、現代英語への理解を深めるとともに、ヨーロッパ諸語および日本語への関心を高める。【知識・理解】【態度・志向性】</li> <li>・形態論に関する基礎知識を身につけ、それを生かして英単語を科学的に分析できる。【知識・理解】【汎用的技能】</li> <li>・英語史および形態論に関する知識を英語学習に応用し、活用することができる。【汎用的技能】</li> </ul>								
学修成果との関連	4. 多文化・異文化に関する基本的知識を有する。								
授業時間外学習【予習】	・プリントに掲げる毎授業の「到達目標」でよく理解できなかった部分について教員に質問する準備をする。また、授業内で複数回ある小テストに備えて勉強する。(30分程度)								
授業時間外学習【復習】	・授業で配布するプリントをよく読んで、理解を定着させる。(30分程度) ・授業内容に関連する図書や資料を読んで、授業で指示された内容のレポートを作成する。(1時間程度)								
課題に対する フィードバック	レポートにコメントを書いて返却する。								
評価方法・基準	小テスト(30点)、レポート(50点)、参加度(20点)								

テキスト	プリントを配布する。
参考書	『新「えいご」英語学』（榎本昭子ほか著、松柏社、2010年、第3版） 『はじめての英語学』（長谷川瑞穂編著、研究社、2014年、改訂版） 『英語の「なぜ？」に答える はじめての英語史』（堀田隆一著、研究社、2016年） その他、随時、授業で紹介する。
備考	・分量等の条件を満たしたレポートが期限内に提出されない場合、成績は「失格」となり、再試験の受験はできない。